

---

# 民宿にて

黒井伸男

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

民宿にて

### 【Nコード】

N6346T

### 【作者名】

黒井伸男

### 【あらすじ】

民宿で体験した

少し怖い話

会社と私生活で嫌なことが重なった僕は、気分転換に旅行しようと思いい、インターネットで情報を集めた

ある地方の風光明媚な場所にある民宿が目にとまった

他の民宿に比べて値段が格段に安かったのだ

朝食と夕食つきで一泊五千円と書いてあった現地に到着し、その民宿を訪ねてみると、予想通り寂れて陰気臭いところだった

値段が安いので文句は言えない

中に入ると、これまた陰気で痩せた老婆が出てきて部屋まで案内してくれるという

老婆の後について行くと、廊下の奥で何かがキラツと光った

それは包丁が光を反射したものだ

廊下の奥がどうやら調理場になっていて、老人が一生懸命に包丁を研いでいたのだ

その包丁はやけに大きく丈夫そうだった案内されたのは、一階の部屋だった

窓を開けると庭があり、痩せっぼっちの鶏が一羽、落ち着きなく動き回っていた

そしてやはり痩せっぼっちのコブタが一匹、鼻で地面を嗅ぎながら、雑草を食べていた

僕はカバンからパンを取り出して、ちぎって投げた

鶏とコブタは気が狂ったようにそれを貪り食った夜7時になると、夕飯の用意ができたことを、老婆が告げに来た

食堂に行ってみると鶏肉のソテーが並べてあった

僕はそれをペソペソと食べた、あまり美味しくなかった

次の朝、窓を開けると、鶏はおらずコブタだけが庭を歩き回っていた

コブタは僕の顔を見ると、一目散に窓下に駆け寄ってきた  
僕はカバンからパンを取り出してコブタに与えた

朝10時頃に散歩に出掛け、昼飯は外のレストランでとった  
その後、また周辺を適当に探索し、民宿に戻ったのは午後6過ぎだ  
った

しばらくすると、老婆が夕飯の支度ができたことを告げに来た  
食堂に行くと、豚のステーキが並べてあり、僕はペソペソとそれを  
平らげた

あまり、美味しくなかった

翌朝、パンをあげようと窓を開けてみると、あの痩せっぽっちの  
コブタはいなかった

鶏もコブタも消えた庭は、ひどく寂しげに思えた

朝10時頃になると、僕はまた外を適当にぶらつき歩き

民宿に戻ったのはやはり午後6時頃だった

しばらくして、老人が夕飯の支度ができたことを知らせにきた

老人の顔をハッキリと見るのはこの時が初めてだった

老婆と同じように痩せた陰気臭い男だった

男の話では老婆は奥さんで、遠くへ出掛けたとのことだった

食堂へ行ってみると、テーブルには唐揚げが並べてあった

男が言うには中国産の珍しい豚肉だという

一口食べてみたが、今まで食べたことのない、妙な味がしたので飲  
み込まずに、そっと吐き出した

残りの唐揚げをビニール袋に入れ、食べたように見せかけて部屋へ  
戻った

翌朝、民宿を去る時に老人が玄関で見送ってくれた

老婆の姿はなかった

(後書き)

最後までお読みいただき  
ありがとうございます

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6346t/>

---

民宿にて

2011年10月9日02時53分発行